

令和5年度総合教育会議（令和5年11月22日）

日 時：令和5年11月22日（水）午後1時30分

場 所：八重瀬町役場 会議室（6）（7）（8）

出席者：

【町長部局】	【教育委員会】	【教育部局】
町長	教育長	次長
新垣 安弘	諸見里 勲	（欠席）
総務部長	教育委員	学校教育課長
神谷 学	上地 由希子	宇地原 勇
総務課長	教育委員	生涯学習文化課長
上江洲 直樹	金城 昇	上地 良則
総務課 主任	教育委員	スポーツ振興課長
新垣 保志乃	金城 久弥	知念 幹雄
	教育委員	指導主事
	西原 美喜絵	玉城 博康
		学校教育課 主査
		上原 瞳

議 題

- 1 学校給食センターの広域計画の進捗及び課題
- 2 八重瀬町スポーツ観光交流屋内運動施設調査事業について

議 事 録

○総務課長（上江洲 直樹）

皆さん、こんにちは。定刻となりましたので、これより令和5年度八重瀬町総合教育会議を開催させていただきます。本日は委員の皆様には、大変お忙しい中、本会議にご出席賜り、

誠に有難うございます。

議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます総務課長の上江洲と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、会議録を作成し、町のホームページ等々で公開いたしますので、録音させていただきます。ご了承いただきたいと思っております。

また、本会議につきましては、公開とされておりますので、傍聴者の席もご準備させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

まず、開会の挨拶を新垣町長から申し上げます。

○町長（新垣 安弘）

皆さん、こんにちは。今日は令和5年度の総合教育会議にご出席いただきまして、有難うございます。そして日頃から学校教育、また教育行政にいろんな面で様々な面でご支援をいただき、ご協力いただきまして感謝申し上げます。

八重瀬町も町外から結構子持ちの世帯の方の転入が増えていまして、子どもたちが想定外に数が増えたりとか、そういうこともあって東風平小学校、白川小学校、生徒数が増加をして、様々な問題を抱えてはおりますけれども、それでも2～3日前に東風平中学校の女子の駅伝が優勝したということで、ちよくちよく小学校にしろ、中学校にしろ、県代表になったとか、そういうこともありますし、そういう意味では学業においてもスポーツ面においてもすごく頑張っているなということを感じておりますので、ぜひまた引き続き多方面からのご支援をお願いしたいと思っております。

今日は、限られた時間の中での意見交換の場となりますので、議事の方を議題の二つに絞ってお願いをしたいと思っております。

一つは、学校給食センターの問題、いま東風平中学校の横にある給食センターが結構老朽化もしていて、いま様々な指摘も受けながら開所もしておりますけれども、新たに広域化で進めていこうということでやっております。

そしてもう一つは、具志頭小学校が使っていた体育館、一旦取り壊しの方針も5～6年前ぐらいに出ていたんですけれども、再度、屋内の運動場として、施設として使用していこうということで、その方向で進めておりますので、この二点をご審議いただければと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

また、時間があれば、それ以外のこともご意見交換できる場になればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○総務課長（上江洲 直樹）

続きまして、事務局担当の新垣より総合教育会議についてのご説明をいたします。

○総務課（新垣 保志乃）

皆さん、こんにちは。八重瀬町総務課の新垣と申します。4月から担当になりましたので、よろしくお願い致します。

総合教育会議についての説明をさせていただく前に資料の確認の方をお願いしたいと思います。教育委員の皆様には、レターパックで先にお送りしていた資料があるんですが、そち

らの内容に変更がございますので、机の上の式次第と資料2、資料3をご覧くださいようにお願いいたします。

資料1のみレターパックで送付した分をご覧ください。本日の資料は、式次第と資料1、資料2、資料3ですべてとなります。

皆さん、お手元の方にお揃いでしょうか。では、資料1の方をお願いします。簡単にではございますが、総合教育会議の設置の趣旨と役割について説明させていただきます。

参加者全員で会議の趣旨等を改めて共有することで、より良い会議の場にしたいと思しますので、よろしくお願いいたします。

まず、総合教育会議というものは、趣旨としまして地方公共団体の長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映して、教育行政の推進を図ることを目的とするとされております。

この教育行政の推進というものが総合教育会議の趣旨となります。

構成につきましては、地方公共団体の長、教育長及びすべての教育委員ということになっております。他の参加者の職員は事務局、又は意見聴取者となります。

内容につきましては、地方公共団体の長と教育委員会という執行機関同士の協議と調整の場となっております。

資料1の最初のページの四角で囲った定義のとおり、協議とは自由な意見交換として幅広く行えるもの。調整とは、教育委員会の権限に属する事務について地方公共団体の長と権限と調和を図ることとなっております。

この協議と調整の具体的な内容としましては、大まかに3つございます。まず1つ目が教育行政の大綱の作成に関する事。2つ目は、教育を行うための諸条件の整理、重点的に講ずるべき施策に関する事。3つ目は、児童生徒等の生命、身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずる恐れがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずるべき措置に関する事とされております。

本日は、式次第の二つの協議事項について、皆さん普段の業務や定例教育委員会の中で内容をご存知かとは思いますが、改めて概要を共有した上で、協議と調整の方をお願いしたいと思います。

また、資料1の最初のページの下の方に会議の公開と公表ということで、今回、法律に基づく会議となっておりますので、原則公開することとされております。

また、本日の会議の内容につきましては、議事録を作成して、これを公表することとされておりますので、皆さん発言の際には、お手元にマイクがありますので、発言の際は挙手をしていただいて、マイクでの発言をお願いしたいと思います。発言の際は、お名前を名乗っていただくと議事録作成がスムーズになりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。以上、簡単ではございますが、私の方から総合教育会議の簡単な説明とさせていただきます。

○教育長（諸見里 勲）

ちょっと途中ですけれども、補足しましょうね。担当が後で録音した議事録を残すときに

は、金城が二人おりますので、金城昇ですと言うところまで、お願いできると大変助かります。声で誰だったかなと思い起こすのは大変ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

○総務課（新垣 保志乃）

よろしくお願いいたします。

○総務課長（上江洲 直樹）

それでは、議事に移りたいと思います。議事の進行につきましては、町長が議長となり進めることとされておりますので、町長の方によりしくお願いしたいと思います。

○議長（新垣 安弘）

それでは、議長を務めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

まず、はじめに議題1の学校給食センターの広域計画の進捗及び課題について、ご協議をいただきたいと思います。

それでは、学校教育課長から内容の説明をお願いいたします。

○学校教育課長（宇地原 勇）

こんにちは。それでは、広域連携学校給食センターにつきましては、私の方からご説明させていただきます。

お手元の資料2、委員の皆様には、広域連携学校給食センター基本構想概要版というものをお配りしております。この資料は字も小さいので、抜粋して画面の方にも映していますので、この概要版と画面の方でご説明したいと思います。

まず、はじめに、項目として、1番目に背景と目的、そして2番目に現状と課題の整理、そして3番目に新センターの基本理念と整備方針、そして4番目に整備候補地について、5番目に学校給食センター建設概算事業算出、6番目に整備手法について、7番目に整備スケジュールの項目の順に説明していきたいと思います。

まず、1. 背景と目的ということで、読み上げて説明したいと思います。八重瀬町及び与那原町では、東風平学校給食センター及び具志頭学校給食センター、与那原学校給食センターの3調理場において小中学校9校、内訳は3中学校、6小学校へ学校給食を提供し、児童生徒の健康増進と体力の向上を図ることはもちろんのこと、望ましい食習慣の形成に寄与してきました。

しかしながら、東風平学校給食センター、そして与那原町学校給食センターは、建築から40年以上経過して、老朽化が進んでおります。そして新学校給食センターを計画的に整備するため、基本構想の策定を行いました。

そして2番目、各調理場の概要ということで、まず八重瀬町の学校給食センターの概要ということで、東風平学校給食センター、面積が550.84㎡、竣工が1982年、築41年が経過しております。一日の給食提供数が約3,000食です。

そして具志頭学校給食センターの面積が331㎡、1995年に建てられて築28年が経過しております。一日の給食提供数が1,300食となっております。

そして与那原の学校給食センターの概要として、与那原町学校給食センターの建築面積が440㎡、竣工が1978年、建築後45年が経過しております。一日の給食提供数が約2,400食となっております。

次に基本理念ということで、5つの理念が挙げられております。まず、1番目に安全安心な給食の提供、そして2つ目に栄養バランスに配慮した美味しい給食の提供、3つ目に食育及び地産地消の推進、4つ目にアレルギーに対応した給食の提供、5つ目に環境に配慮するとともに、効率的な運営の実現を挙げております。

そして4番目に候補地のエリアの検証ということで、候補地を検討するには大量調理施設衛生管理マニュアルに「調理場の職員は調理後から2時間以内に喫食することが望ましい」と記述されております。

そこで給食時間を除いた積み込み、配送、搬入等の合計時間を1時間以内で行うものとして、候補地エリアの検証を行いました。

5つ目、八重瀬町内における候補地の選定ということで、まず候補地として、東風平中学校と、南部福祉センターと、もう一つが今現在、島尻消防が新設された2箇所を候補地として基本構想の段階では挙げております。

そして与那原町におけるエリアということで、基本的に県道77号線を軸とした候補地となっております。77号線付近は地図のここです。与那原交差点、警察署はこの辺り、役場はこの辺り、あと今新しくできている与那原バイパス付近がこの辺りです。今現在、与那原の給食センターはこの辺りにあって、この辺りをエリアとした候補地を与那原町の方は2箇所挙げている状況であります。

そして5つ目に建設概算事業の比較ということで、八重瀬町単独で整備した場合、約18億5,490万円、与那原町単独で整備した場合は13億7,400万円、2町共同で整備した場合は25億4,190万円、内訳として八重瀬町が15億2,514万円、与那原町が10億1,676万円、共同で建設した方が八重瀬町の方では約3億2,976万円、与那原町では約3億5,724万円のコストメリットがあるということになっております。

そして6番目に整備手法についてなんですけれども、令和5年度、本年度はPFI導入可能性調査を行って、PFIを導入した場合と費用を含めた評価を総合的に比較して、新学校給食センターにおける整備手法を決定していくということになっております。

そして7つ目に今後のスケジュールです。令和5年度はこの基本概要をもとに基本計画の策定、早速12月1日に整備検討委員会が開かれる運びとなっております。

5年度に基本計画を策定した後に、6年以降に用地の取得、そして業者の選定、7年以降に建設で8年、9年建設です。令和10年4月の供用開始に向けて、担当の方で進めている状況であります。

令和5年度に整備検討委員会を策定して、令和6年3月までに基本計画を策定して、6年度には用地取得、建設、供用開始、と進めるために、八重瀬町の担当としては、学校教育課、企画財政課、与那原町の担当としては、施設課と学校教育委員会、そして財政課となります。これら担当部署で、基本計画策定に向けて担当者会議が行われている状況であります。説明としては以上です。

○議長（新垣 安弘）

ただいま担当課長から説明がございました。それでは、学校給食センターの広域計画の進

涉及び課題について質疑を行ってまいりたいと思います。何かございましたら挙手の上、お願いをいたしたいと思います。よろしく申し上げます。

○教育長（諸見里 勲）

可能でしたら、何でも構いませんので、お一人、一点ぐらいつつお願いしたいです。

○委員（金城 昇）

金城昇です。いま概要説明を受けたんですが、与那原町の方が老朽化が激しいので、もし共有で建築される場合、与那原町はかなり老朽化が激しいので建築を待てるかどうか。それから予算の面から言うと、かなり浮くので良いと思うんですが、場所選定に関しては、それぞれ与那原町と八重瀬町は大体おおよそ決まっているような感じなんですけど、共同事業になる場合には、場所はこれから白紙の状態に戻して選びなおすところから始まるわけでしょうか。以上です。

○学校教育課長（宇地原 勇）

いま現在、学校給食センターは先程もお話したとおり、八重瀬の方では東風平のセンターが41年、そして与那原が45年経過しております。早めにとということで、平成30年頃から協議を重ねて、いま現在、基本構想も出来上がってやっている状況であります。

そしてエリアについても先程与那原、八重瀬町とも二つの候補地を挙げておりますので、今後、建設検討委員会の方で委員の皆様の意見を聞いて、一つに絞る、これから絞っていく状況です。先程の2点あった中から一つを選定することになっております。

○委員（金城 昇）

ちょっとわからないんですけど、いま説明された中から選定するというので、中間地点を設けるとか、そういう白紙の状態から始まるわけではないんですね。

○学校教育課長（宇地原 勇）

先程ありました八重瀬町内は2箇所、あと与那原は2箇所を出して、この4箇所のうちから1箇所をこちらからも配送する形になります。

○委員（金城 昇）

関連してなんですけど、もしこの2箇所からすると、時間的な問題があるので、ギリギリになる場合もあるかと思いますが、例えば与那原と八重瀬町の距離的にはそんなに遠くはないんですけど、時間的に、例えばいままでより1時間もかかるとかなると、その準備が大変だと思うんですけど、その辺を勘案して、別にその4箇所の中から選んでも問題ないということになるわけですか。

○学校教育課長（宇地原 勇）

概要版の4番目、エリアについてということであるんですけども、先程もあったように2時間以内に喫食、1時間以内で配送できる場所のエリアの選定ということで、この4箇所を挙げております。77号線を軸に2候補ずつ挙げているんですけども、間に合うように、その距離ですね、一番遠い距離、約1時間以内でしたら6キロから7キロ以内の圏内でエリアを両町とも選定しております。以上です。

○委員（金城 昇）

有難うございました。

○議長（新垣 安弘）

他にどうでしょうか。

○委員（上地 由希子）

上地です。よろしくお願ひします。整備手法についてという資料があるんですけども、こちらの方、ちょっと資料ではわかりづらいので、もう少し詳しく内容を聞きたいのと、ここに「PFI導入可能性調査を行い」って書かれているんですけど、整備手法はまだ決定していないということなのか。決定していないんですけど、スケジュール的にはその方向で進むということでしょうか。

○学校教育課長（宇地原 勇）

整備手法については、町が建てた場合とPFI、民間と一体となって建てた場合、これが令和5年度、PFI導入した場合の手法をいまコンサルの方に依頼しております。検討委員会の方で比較して、どの方が一番費用かからないのかということをして12月に検討委員会があるんですけども、その中で議論することとなっております。

3月までにはPFIにするのか、独自でやるのかを決めて、6年度以降に建設に向けては進めていくこととなっております。

○委員（上地 由希子）

その場合だと、このコストの面に関しては変わらないということですか、費用に関して。

○学校教育課長（宇地原 勇）

ですから、いま町独自で建てた場合とPFIにした場合のいま調査を行っている状況で、その比較したものを検討委員会の方で議論することになると思います。

○委員（上地 由希子）

ではこの資料に書かれているコスト、建設の費用、事業費用の算定の費用というのは、どちらの場合の費用なんでしょうか。

○学校教育課長（宇地原 勇）

この資料出ている費用、ここには明記されてませんが、八重瀬町と与那原町が共同で建てた場合の概算が出ています。PFIで建てた場合、あと調理についても各々でやった場合はコスト面で変わらないのかということをしてPFIの手法で調査している状況です。

○議長（新垣 安弘）

他にどうでしょうか。

○委員（金城 久弥）

金城 久弥です。調理場の出発から喫食まで1時間以内を想定しているということでお話いただきましたけれども、与那原から出発した場合に1台で各学校に置いていくのか。それとも5～6台に跨って一気に同じ時間ぐらいに学校に到着することを目指しているのか。この辺をもう一度聞きたいと思っております。

○学校教育課長（宇地原 勇）

同じ時間に一気に出発して、それぞれの学校に到着するような感じになります。

○議長（新垣 安弘）

それでは、他によろしいですか。

それでは、質疑がないようですので、学校給食センターの広域計画の進捗につきましては、以上で終わりたいと思います。その方向でしっかり進めていきたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

次に、議題2の八重瀬町スポーツ観光交流屋内運動施設調査事業について、スポーツ振興課長から説明をお願いいたします。

○スポーツ振興課長（知念 幹雄）

皆さん、お疲れさまです。スポーツ振興課の知念です。私もお配りした資料でもって、ご説明させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

まず、資料4の1ページ目、簡潔に記載してはいますが、11月6日に資料の提出期限がございましたので、11月6日現在ということでお話をさせていただきます。

リニューアルを行う旧具志頭小学校体育館は、改修工事を行うために沖縄県建築指導課と協議のもと、建築確認申請が必要となったことから、現在その法令上の条件整理を行っており、現在、実施設計の委託を発注し、いま業務を行っているところです。

あと小学校敷地内の現地の調査をどうするか、駐車場をどうするかとか、身障者用駐車場をどうするかとか、そういったものを行うための準備を進めているところでございます。

実施設計の中では建物内部の配置の検討をしているところであり、いま現在、実施設計委託業務を発注して業務を行っておりますけれども、いまのところ大きな課題や阻害要因となることは発生してございません。

2ページ目の方、これはいま現在進めておりますスポーツ観光交流屋内運動場施設実施設計業務でございます。資料提出期限が11月6日でしたので、現在とありますけれども、いま11月末ということで、いま進捗は進んでございまして、いま実施設計、図面の作成とか、建築確認申請の図書の作成とか、そういったものを進めている状況で、動きとしましては、2月後半から3月11日に委託業務の業務完了を予定しているところです。

次、3ページ目なんですが、いま現在あります具志頭小学校グラウンドの西側にございまず旧具志頭小学校体育館、これをリニューアルをして屋内運動場に改修するという事になっております。

4ページ目になりますが、1階平面図の方ですけれども、ちょっと小さい字でいろいろ細々書かれてはいるんですが、まずは防球ネットを屋内の方に新設をしまして、例えばプロ野球のキャンプが毎年来ますけれども、雨天時にはその屋内運動場を利用させていただくとか、あとはJ1のサッカーキャンプも結構来しておりますけど、雨の日になると、こちらで屋内運動場を利用させていただくとか、あとウエイトリフティングの国内の日本代表選手とか、その辺りのキャンプの誘致を検討しています。いま現在行っています、沖縄県のウエイトリフティング大会は、中央公民館の具志頭分館のホールの方で行っておりますけれども、それもこの会場に誘致できないかということも考えているところです。

アリーナの床面は、すべて床面を補修しまして、全面に人工芝を予定しているところです。

ステージの方は撤去をする予定です。右側のちょっと離れたところに倉庫を造りまして、そこにキャンプ時の備品とか、いろんな大会等の必要な備品等の倉庫を予定しているところ

です。

続きまして、5ページ目になりますが、これが2階平面図になっておりまして、西側の左側の方にトレーニング室を設置しまして、奥の方にミーティングルームを予定しているところです。

6ページ目は屋根の付設ですけれども、ご参考までにお目通し下さい。

7ページ目が立面図になっていまして、外見からの大きな変更は特にないということで、外壁のひび割れ改修とか、いろんなそういった細かい改修も出てくるのかなと思っておりません。

この体育館がいま実際バリアフリー化されていない体育館になってございますので、いま正面の方に屋外階段、屋外スロープを新設ということで、スロープを付けてバリアフリー化をいま検討しているところです。

8ページ目も展開図になりますけれども、これもお目通しのほど、よろしく願いいたします。

続きまして、9ページ目ですけれども、先程お話しました外の方に倉庫をいま予定しております、そこに備品等置き場を予定しているところです。

いま現在、こちら想定しております事業費につきましては、基本設計、実施設計、あと改修工事費、概算ではございますけれども、約4億1,000万円ぐらいにはなるのではないかなというふうに予測しているところでございます。

来年度は、まず改修工事としまして、いま現在、体育館の屋根の方がすごい腐食をしております、雨漏り等が酷い状況になってございますので、来年度、屋根の改修工事を大幅にやりまして、令和7年度に内部の改修工事を行いまして、令和8年度に備品等の購入をいたしまして、8年度中に供用開始ということでスポーツ振興課としては考えているところでございます。以上でございます。

○議長（新垣 安弘）

担当課長から説明がございました。

それでは、八重瀬町スポーツ観光交流屋内運動施設の調査事業について質疑に入ります。何かございましたら、挙手をお願いいたします。

○委員（上地 由希子）

上地です。図面の敷地の設定のことなんですけれども、運動場は、黄色い部分のみがスポーツ観光振興で利用するになるのかということと、ここは小学校のグラウンドの敷地でもあるということで、もしスポーツ観光振興で利用する場合、例えば学校休業日にしか利用しないのか。もし、学校が開いている時間帯に利用するのであれば、子どもたちの活動と被るということになると思うんですけれども、その場合の想定というのはどういう形になっているんでしょうか。

○スポーツ振興課長（知念 幹雄）

いま検討事項として検討している部分ではございますけれども、黄色い部分につきましては、具志頭小学校体育館への進入路として設定できないかということで、フェンス等で仕切

りをしまして、小学校のグラウンド、運動場に影響のないように検討できないかということ
でいま調査を進めているところでございます。

○委員（上地 由希子）

あと1点、学校の閉庁日しか利用しないのか。

○スポーツ振興課長（知念 幹雄）

これも学校の休校日以外でも利用できるような形で進めているところです。スポーツキャ
ンプ等につきましても学校が休業じゃない日もスポーツキャンプなどやっていますので、そ
れに応じて利用するような形で、学校側とも調整をしながら、学校側に影響がないよう
に進めていこうかなということではいま調査を進めているところです。

○委員（金城 久弥）

金城 久弥です。図面に管理室みたいなものがないんですけれども、借用中は役場から
行って、常駐してどこかに座っていて施錠までするのか。管理人が業務委託してつくのかと
いうところもいまから決めるのか。ただ図面上、何もそういうところがないので、入って
いきなりホールになっていますので、その辺はどのようにお考えでしょうか。

○スポーツ振興課長（知念 幹雄）

たぶん1階平面図の方をご覧になられてのご質問だと思うんですけれども、この図面が概
略設計みたいな、ここでそういう屋内運動場ができるかどうか、昨年度委託業務で描いて
いる図面になっておりますけれども、現在、実際、本年度に実施設計を行っており、スポ
ーツ課としましては、やはり施設管理人がいないと、そういった一般の方も来られるだろ
うし、いろいろありますので、施設管理人を置くような形でいま進めているところで
ありますので、当然、管理人室は必要かなということでは、いま実施設計にはめ込んで
いるところでございます。

○委員（金城 久弥）

プロ野球、Jリーグ、ウェイトリフティング等々の本格的なスポーツ選手の共用、使用
が見込まれるということで、具志頭小学校の生徒たちにとっては大変有益だなというふう
に思っていますので、これはぜひ八重瀬町全体の財産としてプロ野球が使う場合は、J
リーグが使う場合は積極的に町内の小中学校生徒、幼稚園も含めて交流ができるよう
な方法もぜひご検討いただきたいと思います。とても素晴らしいことだなと思います。

○議長（新垣 安弘）

他にどうでしょうか。

○委員（金城 昇）

金城 昇です。学校では、体育館の雨漏りというのはよく聞くので、わりと新しくても
雨漏りがよくあって、その雨漏りを補修するのになかなか直らないという状況がたぶん
皆さんもご存知かと思うんですけど、それで雨漏り対策に関して屋根の修復はとて
も大変なので、その対策はできているのか。もし、おわかりでしたら、大体今後の
計画として4億1,000万円の中で、屋根の修復にどのぐらいかかる予定なのか
教えていただきたいと思います。

○スポーツ振興課長（知念 幹雄）

いま現在、実施設計をしているところで、屋根を改修でできるのか。それとも撤去
新設をしないといけないのかというのは、いま検討しているところでございまして、
当然、採光窓、

採光を取り入れる窓とかを設置してしまうと、雨漏り等がまた発生してしまうとか、いろんな懸念事項がございますので、その辺を検討しながら、実際にいま改修でそういう雨漏りがもう止まるのか。それとも先程お話しました撤去新設しないといけないのかというのは、いま現場に入っている業者の方と実施設計をしながら調整をしているところでございます。以上です。

○議長（新垣 安弘）

他の委員はどうでしょうか。

○委員（西原 美喜絵）

西原 美喜絵です。収容人数と、この練習場は観客を入れるのか。観客を入れるイベントも考えられているのか。あとその際の駐車場関係も知りたいです。

○スポーツ振興課長（知念 幹雄）

教育委員会としましては、キャンプの雨天時の有効活用とか、先程言いましたウエイトリフティング大会等のそういった活用を考えてはおりますけれども、当然、町民皆さんの何らかのイベントができないか、できる会場にもしていきたいなと思っておりますし、また近くに小学校、中学校もございますので、児童生徒が使えるような施設にしていきたいなというふうに考えているところです。

駐車場につきましては、当然、上の方では駐車場確保はちょっと厳しい部分がございますので、ちょっと近くの方で駐車場が新しく整備できないかということでいま検討を進めているところでございます。以上です。

○委員（西原 美喜絵）

要望なんですけど、こういった施設のときに一番困るのがお手洗いで、子どもを連れていくときに一番目が届かない危険な場所なので、その辺を実施設計計画の中で入れていただきたいです。

○スポーツ振興課長（知念 幹雄）

当然、いまの施設にはそういった男女別のトイレ、あと当然、多目的トイレが必要になってきますので、その辺は実施設計の中で計画をしているところです。以上です。

○議長（新垣 安弘）

上地委員、よろしくをお願いします。

○委員（上地 由希子）

いま改修の方向で進んでいるということなんですけれども、これもし解体するとなった場合は、費用っていくらぐらいになるのか併せてお聞きしたいと思います。

○スポーツ振興課長（知念 幹雄）

すみません、私ちょっと資料を持ってなくて、約8,000万円ぐらいだろうと、ただ、アスベストとか、その辺が発生した場合は、それ以上の解体費用がかかってしまいますので、それを搾取しまして改修ということでいま進めているところになっています。以上でございます。

○委員（上地 由希子）

これは具志頭小学校のグラウンドになるので、ぜひ具志頭小学校校区の住民の方たちにもきちんとした説明は、やはりグラウンドが小さくなる、使いづらくなるということもあるので、そこに関してはきちんとした説明の方はしていただきたいと思います。

○スポーツ振興課長（知念 幹雄）

ご指摘有難うございます。わかりました。

○議長（新垣 安弘）

他にございますか、よろしいですか。

本日の議題の二つは質疑を終えました。それでは、進行に戻したいと思います。よろしくお願ひいたします。

○総務課長（上江洲 直樹）

それでは続きまして、その他ということでご自由に意見交換などを行いたいと思います。

先程、担当の新垣の方からもご説明がありましたとおり、総合教育会議の趣旨としましては、地域の教育の課題等とかもいろいろと意見交換ができる場になっておりますので、その場をいい機会として教育委員の皆さんから、そういった課題等があるのであれば、ご意見賜りたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○委員（金城 昇）

金城 昇です。引きずるようですけど、八重瀬町管内で体育館の雨漏りがある学校はあるかどうか教えてほしいですけど、お願いします。

○学校教育課長（宇地原 勇）

お答えします。いま町内では、東風平中学校と新城小学校2箇所があって、いま修繕している状況です。だいぶ止まったりして、そろそろ修繕している状況です。いまのところ2校です。

○委員（金城 昇）

有難うございます。いろんな学校で雨漏り問題は結構たくさんあるんですけど、専門業者でも雨漏り止められないで、何回も何回も同じ要請をする場合があったんですけど、体育館の雨漏りは直すのが難しいのかわかりますでしょうか。

○学校教育課長（宇地原 勇）

ご指摘のとおり、原因とかわからなくて、その都度、業者とかいろいろな手法でもって直している状況です。修繕するにもだいぶ費用がかかりますので、そういう修繕をいましている状況です。業者の方、なかなか原因がわからないということです。その都度、雨が降って、すぐ降っては漏らないで、しばらく経って漏ったりするものですから、その都度、修繕している状況です。

○委員（金城 昇）

要請しても同じようなことを何回もやるわけですけど、かなりお金がかかるから部分的にやろうとしても直らない状況があるのかどうか。もし、大々的にやれば止まるはずなんですけど、予算内の中でちょこちょこちょこやるから、これが原因で止まらないのかなと思ったりするんですけど。

○学校教育課長（宇地原 勇）

東風平、新城の場合に全体的に行っている状況ではあります。

○委員（金城 昇）

止まらないわけですか。

○学校教育課長（宇地原 勇）

手法を変えて、新城、東風平の方はだいぶ良くなっております。

○委員（金城 昇）

有難うございます。

○総務課長（上江洲 直樹）

他にございませんでしょうか。

○町長（新垣 安弘）

教育長、上地委員の方からも少し体育館の件で小学校に対する心配があったので、教育長の方からそこら辺ちょっと補足説明をしてもらえればと思います。

○教育長（諸見里 勲）

向こうの体育館の整備については、具志頭小学校の体育館は10何年か前に造られて、合併後は取り壊すのか、再利用するのか、常に議論されてきました。

その中で決定事項って何もないんですよ。こうするという決定した記録もありません、私が調べた限りでは。壊した方がいいんじゃないかという意見は記録されていましたが、でも、再利用すべきでしょと。なぜかと言うと、その引き継いだ当時はまだ20年しか経ってないんですよ。いま東風平中学校の体育館は、やがて30数年、新城小学校の体育館はわずか2年間、新しいぐらいなんです。体育館って40年も50年も十分使えます。先程雨漏りの話もありましたけど、私は技術関係の土木建築も若干勉強してきたものですから、雨漏りは直せます。私が13年前に赴任していた大里中学校は、ものすごく錆びていました。もう全滅なぐらい。

しかし、それを大規模改修する、億単位かかりますよね。張り替えると2億円以上かかりますから、とてもじゃないけど厳しいということで、池を造ったりするグラスファイバーがありますよね、**ファイバーで強化をしながら、防水ペンキで固めてきて13年使ってきました。去年、体育館新しくしましたので、新しくはしたんだけど、屋根だけ変えたんですよ。全部リニューアルして、コンクリートを大里中の校舎はまだ使っています。しかし、外から見たら全くの新築ですよ。

それから具志頭社会体育館は、屋根を全面張り替えるよりは、上から被せた方がいいだろうということで10年以上になるかな、上から被せていますけど、よくある業者の場合には直してもどこから漏れているかわからんと言うんですが、原因はあるんですよ。大体、普通に光を取り入れるサッシ周りのコーキングが硬くなって、そこからわずか髪の毛の毛ぐらいのところからどんどん漏ってくるんですよ。

それから私が来る6年前は、東風平体育館、雨降ったらバケツの一杯水溜まっていた。漏っているのは、この真上ですから、真上を調べてみると、サッシ周りのコーキングが劣化している。

ですから、全部そこをカバーして、グラスファイバー、船を修理するのがありますよね。あれで固めて、もう6年間、まだ使っています。全然大丈夫です。でも、時々また垂れてきたりするものですから、点検してグラスファイバー貼ってないところがまだちょこちょこ漏れてくるものだから、そこに時々修繕を入れてますよね。振興課長の時代に、去年、一昨年ぐらいだったかな。それも数十万単位かな。だから2億円払うのか、数十万払うのかの違いですよ。だから、そういった形で施設はSDGsの時代にやはり修繕して使うべきだろうということは、29年3月に公共施設等検討管理計画というのを作られているんですよ。その中にもちゃんと修繕して使っていくという方針を作っているんですけど、予算が付きにくいというのが行政の課題だなというふうに思っております。

それから具志頭小学校体育館については、29年3月のいまホームページで公開されている公共施設等管理計画、10年間公共施設をどう管理していくかという計画を一部見直したのがあるんですけど。その中には具志頭小学校体育館は、屋内運動場として再整備するということが書かれています。これは計画の59ページに書かれていますので、確認してみてください。

それは平成28年までに整備しますと、あくまでも計画です。計画は立てるけど、実際はずれたりしますよね。ですから、再整備は平成28年までにはおそらく完了する可能性があるなど。これは私が教育長として赴任した6年前にも町長と一緒に見に行きました。あんな立派なものをいま壊す段階ではないんじゃないかと。

南の駅もできましたので、南の駅のイベント会場としても使った方がいいんじゃないか、様々な意見がありました。それから議員からもぜひ整備してほしいという意見もあって、議論した中で、いろいろ検討したけど、屋内運動場だろうという中でキャンプ誘致の話があって、キャンプはしたいんだけど、屋内運動場があったらいいねということで、各地域の屋内運動場、いま糸満市も造っていますけど、本当から言うと大体60メートルぐらいほしいんですよ。でも、具志頭小の体育館は30メートルぐらいしか取れないんです。野球のピッチングは大体18メートルぐらい、20メートル、25、30メートル以内あったら、内野の練習とか一部はできるんですよ。

ですから、理想にはちょっといかないんだけど、十分使えるということで、今日は参加してないんですけど、屋富祖次長に調べてもらって、十分使えるということで整備していこうという方針であります。

それから具志頭小学校の学校教育に支障があってはまずいですよね。先程あった通路は常に車が通るといって計画ではなくて、どうしても反対側から道が造りにくいものですから、億単位のお金をかけて坂道を全部造れるんですが、でも、そこに荷物を搬入するときには、どうしても通してくれということで、運動場と同じ高さのコンクリート舗装なりをやれば、間知ブロックみたいに段差を造らないよと。サッカーしようが、野球しようが、ここから先は舗装されているということであれば、テントも入るし、野球でも邪魔にならないですよ。むしろ運動場の端っこってみんな草生えて使っていないところ多いですよ、新城小学校もでした。

そういうことで、3～4年前、具志頭小学校校長にも、こういう方針でということで、大

まかに賛同を得ています。いま夏は大変なんですよ、体育館、運動場でのは。それから保育園、熱中症で倒れたりしますよね。沖縄はものすごい暑くなって、そういう中でもすべての学校に本当はクーラーが必要なんですよ、教育環境にお金かけるとしたら。

私、ハワイにも国際交流で行ってききましたけど、全部クーラー入っています。でも、建物自体はプレハブみたいなものなんだけど、クーラーはきっちり入っているという何が大事ななのというのを少し考えるんですけど、立派な見かけの体育館よりは、スペースがあってプレハブでもいいからクーラーがあった方が絶対いいねということであります。

そういうことで、夏でも老人から子どもたち、幼稚園生までクーラーのある施設で、人工芝のところ、いろんな効果が相当高いんじゃないかということで、学校の方にも、学校が使うときには、これは八重瀬町の施設ですから、ちゃんと申し込んで使って下さい。申し込んで空いていれば使える施設ですよということで、大方了解を得ていると。運動会には、特に4ページの平面図を見ていただけますか。30メートルぐらいの広さしかないものですから、道具置く場所ないんです。私たち野球しようとしたときにピッチングマシーンとか、ネットとか、様々な道具がありますよね。ここに置かれてしまうと全く利用できなくなります。

ですから、面積があまりにも小さくて、中に倉庫が造れないものですから、外に小さなプレハブ、道具置き場があると、中が常にフラットになっていて、それからキャンプはしていても見学する場所ないですよ。中があまりにも狭くて、中に人を入れられないです。

そういうために南側には、ここは見学スペースとして、ウッドデッキがあると20～30名から40～50名ぐらい入れるかな。

選手は休むときにこの中で休む場所が取れないんですよ。ですから、飲み食いとか、ちょっと水とかやるときには、ウッドデッキのところでも選手も休憩したり、飲み食いしたり、ストレッチぐらいできるんじゃないのと。

それから北側は、見学者が来たらどこから見ると、反対側のウッドデッキいきなり廻れないですよ。スポーツキャンプの見学者はここから見たらできるんじゃないのと、仮に南の駅でエイサーとか、バザーがあるときには、外からの見学ってものすごく有効なんですよ、外から出入りしやすいし。

だから、北側はオープンにしてほしいということで、そこを階段上にする。階段上にするけど、その階段上は、体育館を利用するときには、階段上でぱっと出たり、入ったりできる。いろんなバザーでも、さらに運動会ときにはどうかというと、ここはテントスペースとして、本部席としてもものすごく有効に活用できるんです。いまはどっちかと言ったら、学校側の方にありましたけど、ここに観客がこのベンチに座って運動会ができると、決して運動場狭くなっているという感じではないんですよ。

さらに休憩がてら本部席、運動会ときに、ここをオープンにしてあげると、むしろ運動場広く使えますよねという説明を学校の校長、教頭にやったら、そうかと、ぜひこのように利用させていただきたいということで計画を進めていいですかという話はして了解得たところです。

現在、町内の保育園生は具志頭改善センターで運動会したり、様々やっていますよね。理由は、あそこにクーラーが入っているからなんです。そういった感じで、そこへ広い広場ができると、風船遊具も時々南の駅のイベントでありましたけど、夏場はここにクーラー入れて風船遊具を置いたらいろんなことができるねということでもありますので、ご理解いただきたいと思います。以上です。

○総務課長（上江洲 直樹）

他にございませんでしょうか。

なければ、これで今日の次第についてはすべて終了となります。

閉会のあいさつを諸見里教育長から申し上げます。よろしくお願いいたします。

○教育長（諸見里 勲）

今日は、この後また教育委員会議もありますけど、教育総合会議ということで、これは町長の教育策、町長の教育施策は町長から指示されて、私をはじめ教育委員会の課長、職員で作って、町長にこれですよろしいでしょうかということで町長が議会でやるんですけども、特にその中で今日は教育施策たくさんありますね。不登校対策、それから学力向上対策、様々ありますけれども、やはりこれは教育施設の整備が町長部局で予算を組んでしっかり整備するということになっているものですから、町長の理解を得て、しっかり教育環境を整備するという方針で教育施策として来年、令和6年度の施策の中に盛り込んでいくということでもありますので、ご理解いただきたいと思います。

委員の皆さんには、本当に貴重なご意見を大変有難うございました。特に学校給食センター、これは具体的には八重瀬町と与那原町との広域連携学校教育センターということで進めております。

これについては、合併後二つある具志頭給食センター、東風平給食センター、両方を一つにする必要があるということで、ずっと検討は進められておりました。その中で独自にやろうということで計画は進めていたんですけど、与那原町から一緒にやりませんかというお話が5年前にありました。5年前にあって、じゃ検討しようということで4年前に検討会議をやって、計画書が出来上がりました。

それを実際、去年から与那原町と八重瀬町の担当者レベルで何度も会議を開いて詰めてきて、いよいよ事業として本格的に令和6年度からスタートできるなというところまできております。いろんな方面からご意見、助言いただきながら進めていきたいと思います。

2番目に八重瀬町スポーツ観光交流屋内運動場施設整備、おおよそですけども、10年近く前に壊したらいくらぐらいかかるんだろうと、あくまでも概算ですね。5,000万円以上かかるんじゃないかと、でも、実際やったら8,000万円かもしれないねと、あの時代のものは、いま公共施設単価でいくと、もしかしたら倍かもしれないねという話になっておりました。

しかし、5,000万円、8,000万円あったら修繕できないとか、様々な意見もありましたけど、役場の皆さん、それから内外の皆さんからご意見を聞きながら、やはり屋内運動場が現実的だろうということで、スポーツキャンプの中で野球キャンプの皆さんの意見も聞きながらやったところ、十分使えますよという意見があったものですから、これも補助金

を活用しながら進めていくという方針をつけて、じゃ細かい設計はどうするかというのは、本年度スタートしているところであります。

これもあくまでも南の駅にも近いし、具志頭小学校、あるいは八重瀬町全体の子どもたちの教育にも使える施設になればいいなということで整備していきたいと思っております。

ちなみに、具志頭小学校1994年、平成4年に造られております。ですから、まだ30年ぐらいしか経ってないんですね。でも、建物は使わないで放置すると、一般の住宅もですけど、みるみるうちにあっちこっち傷んできて、何か相当壊れているなという印象ありますよね。特に行くたびに運動場側の時計、大丈夫かなっていつも気にはなっていますが、そういう形で使わないとどんどん古くなってダメになっていく。

学校給食センター整備も、屋内運動場整備も、今後のスポーツ観光という形で事業を進めますけれども、八重瀬町全体の子どもからお年寄り老人まで有効に使える施設になるように、各方面の意見を聞きながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

本日は、限られた時間ではありましたが、大変有難うございました。

○総務課長（上江洲 直樹）

それでは、ちょっと事務局の方から提案というか、年に一回の総合教育会議になっておりまして、法律に基づく会議になるんですが、この会議については、教育委員会から町長に対して何か協議すべき事項がある場合は招集して、その会議を設けることができるとなっておりますので、また年に一回以外に教育委員会の皆さんで月に一回、教育委員会議を開催されているかと思いますが、その中でも町長を入れて、そういった協議をしたいとかがございましたら、また学校教育課事務局の方と調整していただいて、開催ができるというふうになっておりますので、ご検討の方もよろしくお願ひしたいと思ひます。

では、1時間余りの会議になりましたが、これをもちまして令和5年度の八重瀬町総合教育会議を終了いたします。本日は、どうも有難うございました。